

【表紙】

魂を投げろ 全五巻

【表紙裏】

【1頁】

(十六ミリ)

魂を投げろ

全五巻 五八貳米

台湾総督府

P第五九四号

検閲済

有効期間

自昭和十七年五月二十九日

至昭和二十年五月二十八日

障害ナシ

【2頁】

【3頁】

魂を投げろ 全五巻

製作 日活多摩川撮影所

△梗概

常盤中学対西山中学の野球試合は土地の一名物になってゐた今年春のレースしに常中対西山中学の試合は西山中学に凱歌が上つた常盤中学の花形投手は早崎と伊沢の二人であつたは早崎は助膜を痛み伊沢は文の強固な反対によつてチームを退くの止むなきに至つた甲子園の大トーナメントに対する地方予選は向つて来た夏期休暇に先たつて猛練習は遂に□後の早崎を倒□させて終つた唯一の投手は伊沢である□も伊沢の文は頑として彼の野球を禁じてみる。級友の花願も此の旧式一生一度の父を動かす事が出来なかつた。然し早崎の妹節子及コーチの取計かに依り父の心は解け地方予選大会

【4頁】

の決勝戦に出場し見本凱歌は常盤中学にとつた。

△字幕 第一巻

1. サクラグラフ
2. 魂を投げる 田口哲 監督作品
3. 原作 飛田□州 脚色 玉川映二
入
4. 監督 田口哲 伊賀山正徳 4 B 出演者
撮影 福田寅次郎 内田耕□
中□□
□□□□
5. 大島□宅、東勇路、星ひかる、中村吉次、鈴木三右エ門
上代勇吉、長尾敏之介
6. 原節子、和□浦 小浪 田村芙紗子、紅沢葉子 稲田春子

【5頁】

7. 五対二西山中学再び勝つ常盤中学投手早崎病に倒れ伊沢投手
の救援も及ばず
8. 一郎
9. 一郎の奴□たわしにかくれて野球をやつて居る
10. お父つあんが新聞を見て大変なんだよ
11. もう決して野球はしません
12. 早く御飯を食べて学校に行きなさい
13. お父さん敗けたつきりで止めてしまふの口惜しいんだけど
14. おい早崎
15. 体は大丈夫か
16. 口惜しいな

【6頁】

17. 今度の地方予選に勝てばいゝさ。そして今年こそ甲子園に出かけるん、□
18. ねみんな今日は僕の誕生日だ家へ来ないか。
19. 松本さん
20. 姉さんも一緒に入つてよ
21. 早崎君の姉さん
22. みんなさんお菓子をおとんなさい
23. 只今
24. 流々は貞宗の銘刀だ この焼刃を見る

25. 今はもう家に何もなにかこれ丈は大切な家宝だ

26. □ちおれたりと雖もそもそも伊沢家の御先祖様は入幡太郎義

家の後衣問

【7頁】

27. お父つあんまた始めましたね、

28. ねもう一度丈け野球をしてはいけないか知ら

29. そんな事云ふ物ぢやありません

30. お前には気の毒だけど僅か許りの畑でも他口人手はなし

31. 第一巻 終

第二巻

1. 第二巻

2. お前を中学校に出すのが精々なんだからな

3. これからまた忙しくなるしそれに野球をやればまたいろいろの要りたからね

4. 僕野球部を止さうと思ふんだ

【8頁】

5. お父さんがどうしても許して呉れないんだよ

6. オヤヂがそんなに恐いのかい弱虫だな

7. ほんとを云ふと僕家が忙しいんだ

8. ね僕だつて医者に止められて居るんだけど今度の予選あけはどうしても出積りだぜ

9. どんな事をしても今年こそ勝ちたいんだ

10. そんな事して体を壊すと大変だよ

11. 死んだつて関るもんか

12. ね何都の試合でも必ず文で投げて来たんぢやないか

13. そんならいゝよ

14. ほんとに止すの

【9頁】

15. 学期、試験も無事に終へて楽しい夏休みが来ました

16. いゝ調子だ

17. これで伊沢が居て呉れゝばナ

18. 早崎が倒れないんだ

19. 今君がやつてくれなければ今度の予選には出られないぞ

20. オヤヂが許さないのなら俺達が談判に行く
21. そんな事云つたて無駄だよ
22. 今変えなければと思つてみんなで頑張つて来ましたが
23. 今伊沢君に出て貰へなければ到底勝つ見込みはないんです
24. 他に投手をやる者が居ないんです

【10頁】

25. 今度の試合丈け伊沢君を出して下さい
26. わしは野球など云ふ舶来の遊戯は嫌いだ
27. 日本には立派な武士道がある
28. 心身を鍛錬するのは剣術に限る
29. これは先祖伝来の貞宗の銘刀だ
30. この焼刃には大和魂の白ひか籠つて居る
31. 兄さんの病気が早く療りますやうに——
32. そして今度の試合にはきつと勝ちますやうに、
33. きつと きつと勝ちますやうに……
34. どうしてこんな所でたった一人で——

【11頁】

35. お父さんがどうしても許して呉れないんだよ
36. それに画門は忙しいから……
□□□□
37. ちや今度の予選には出られないの

38. 英ちやんさへ出て呉れれば僕なんか出なくても、
39. 第二巻 終

第三巻

1. 第三巻

2. お医者さんは何て云つてるの
3. 予選までにはよくなるつて云つて居られるんだけど——

【12頁】

4. 僕ね毎朝一生懸命二百づゝ投げて居るんだよ
5. 今のはボールよ
6. 疲れたでせう

7. お父さんに見つかると大変なんだよ
8. あと二日
9. 素晴らしい球たまですね
10. 惜しいもんだな
11. あの伊沢君のオヤヂと云ふのが恐ろしい頑固屋ですね
12. どうしても野球をやらせないんですよ
-
-
-
-
13. 唯の速い球ではない魂が入って居る
14. 伊沢が出れば今年こそ常盤は勝出来るんだが

【13頁】

15. どうですあのスピード
16. 伊沢君素晴らしいぞ
17. 今の君の気持を忘れるんぢやないよ
18. 君の球には魂がこもってゐる
19. 野球と云ふものは型が形ばかりで出来るものぢやない
20. 僕も魂を投げると云ふ事を君から教はつたやうな気がする
21. 大島さんと云ふ学生さんが見へましたよ
22. 何の御用です
23. 先程は失礼しました
24. わしは野球の話は聞き度くありません

【14頁】

25. 一郎君を今度の予選に出していただきたいのです
26. 併貴方も一郎君が身も魂も打込んで球を投げて居る姿を御覧になつた筈です
27. あの一郎君の眞剣な気持が貴方には分らないのですか
28. 今朝十一時選手一同は出発するのです。もう一度よく考へてとげて下さい
29. 貴方は野球を末の遊戯をはれますが野球にもまた立派な野球道があるので
-
-
-
-

30. 画中文字(時計十一時)

31. 第三卷 終

【15頁】

第四卷

1. 第四卷

2. 泣く奴があるか
3. わしはお前の泣き「画」を見るのが嫌なんだ
4. 負けて帰ると承知しないぞ
5. 何を愚図々々してるんだ
6. 早く行つて来い、
7. 三時の汽車に乗れば間に合ひます
8. 負けるなよ
9. お父つあん鶏の餌を頼みますよ
10. お父さん許して呉れたんだ

【16頁】

11. 三時の汽車で行つて来る
12. きつと優勝旗を持つて帰つてから待つて呉れよ
13. 本当に勝つて来てね、大阪の伯母さんから早く来るやうにだつて手紙が来てる
14. きつと勝つて帰る
15. そしたら一緒に甲子園に行かうね
16. 試合に出られなくても
17. 君がベンチに居て呉れたら気が強いんだ
18. 僕が帰つて来るまでに良くなるやうに
19. ほんとに養生してね

【17頁】

20. 頑張つて呉れよ
21. さよなら
22. 常盤中学西山中学共に準決勝に勝つ
23. また西山中学との戦だ
24. 西山の様子は皆もよく分つて居る筈だ。だが西山の方でも我々をよく知つてゐる
25. 誰れにも云ふんぢやないぞ
26. 明日はみんなしつかりやるんだぞ、早崎の為に復讐戦だ
27. 明日勝てば大阪に行かれるぞ
28. 決勝戦

【18頁】

29. 画中文字(勝手なら本日休業)
30. 第四卷

第五卷

1. 第一卷
2. 画中文字
3. 早崎が待つてぞ。頑張つて行かう
4. 何も考へないで思ひ切つて投げるんだぞ
5. 画中文字
6. 〃
7. こゝで一本カーンとやられたら

【19頁】

9. 兄さん勝つたのよ
10. 勝つたのよ
11. 早崎君よろこんでくれ
12. 俺達は力一杯戦つた、そして遂に決勝戦で宿敵西山中学に勝つた
13. 画中文字
14. だがこの優勝旗を君の霊前に捧げやうとは思はなかつた
15. 画中文字
16. 早崎お前は何故死んだ――
17. 俺達が死物狂いで戦つたのは――
18. □お前の喜ぶ顔が見たかつたのだ

【20頁】

19. でも――
20. でも英雄はほんとに喜んで死んで行きました
21. 画中文字
22. 俺達は明日いよく甲子園へ出かけるのだ
23. 今度こそきつと大きな優勝旗を持つて帰るよ
24. 画中文字
25. 〃(〃優勝旗)旗
-
-
- 報国 興亜奉公 健康充実 国力充実 台□州

26・終 ヒットボーイシリーズ

―以上

【データ採録者…山梨貴正】【校正…森田健嗣】